

# 事業計画及び成長可能性に関する事項



**株式会社セキュアヴェイル**

**【3042】**

**2022年6月30日**

I .会社概要

II .市場環境

III .事業内容 利益計画

IV .認識するリスク

# I .会社概要

# 事業目的と概要

当社グループは、インターネット黎明期である2001年の創業以来、情報セキュリティ対策に特化した専門事業者として、お客様にシステム環境を「安全に健やかに使い続けていただくこと」を追求してきました。

経済活動を支える必要不可欠な社会インフラとして、お客様のネットワーク・セキュリティ運用を、24時間365日体制で、責任を持って、お手伝いさせていただくことが、創業時からのサービスポリシーです。

当社グループは、当社、連結子会社2社(株式会社キャリアヴェイル、株式会社LogStare)の計3社で構成されております。



会社名	株式会社セキュアヴェイル ( 英文表記 : SecuAvail Inc. )
創業年月日	2001(平成13)年 8月 20日
代表者	代表取締役社長 米今 政臣
証券コード	3042
従業員数 (連結)	72名(2022年3月31日現在)
事業内容	コンピュータセキュリティの運用・監視・ログ分析サービス
本店所在地	〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満1-1-19 アーバンエース東天満ビル
子会社	株式会社キャリアヴェイル 株式会社LogStare

## 企業理念

### 「貢献」

最高の品質のサービスを提供させていただくことにより、  
お客様の業務発展に貢献し、従業員とその家族を幸せにし  
会社の発展と社会・地域社会に貢献することを目的とする

## 当社の使命（ミッション）

お客様のシステムセキュリティを確保し、事業運営を安心して継続されるためのシステム運用支援者として、  
「安全」で「役立つ」サービスを提供する会社として、未永くお付き合いいただける企業を目指してまいります。

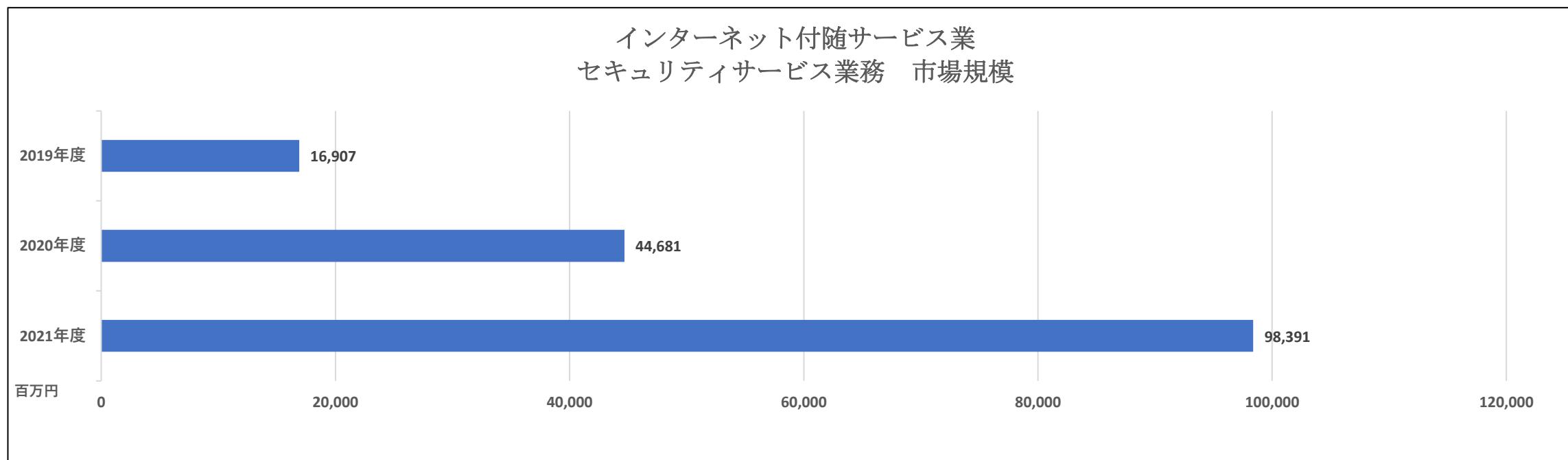


## II. 市場環境

# 主たる事業の市場環境

企業の情報管理を取り巻く環境では、テレワークや、Web会議システムを始めとする企業のデジタル化によるネットワークの複雑化、情報漏洩や高度化する標的型攻撃、ランサムウェア等のサイバー攻撃に対する危機意識の高まり等、企業が情報資産を維持管理することは、重要な経営課題と認識されております。

国策としての情報セキュリティ対策への取組みや、クラウドサービス、IoT（モノのインターネット）の普及により、情報セキュリティサービスの市場規模は急拡大しており、市場規模は年々増大しております。



参考：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査6. インターネット付随サービス業」（2022年4月分確報）

## Ⅲ.事業内容 利益計画

## SecuAvail

セキュリティ運用監視サービス

創業時からのSOCサービス 2001年8月設立

## CareAvail

セキュリティエンジニア派遣

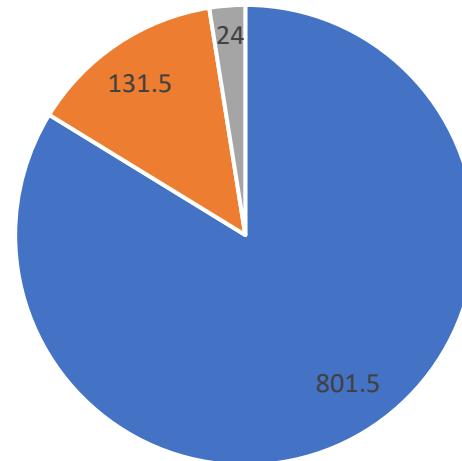
「セキュリティ人材の不足」という社会課題に解決策 2017年5月設立

## LogStare

各種セキュリティ運用基盤の開発・販売

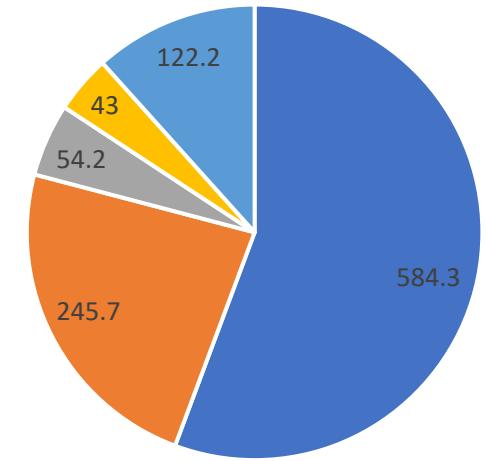
2020年8月設立

2022年3月期 連結売上内訳  
957.0百万円



- セキュリティ運用監視サービス
- セキュリティエンジニア派遣
- 各種セキュリティ運用基盤の開発・販売

2022年3月期 連結コスト構成  
1,049.4百万円



- 売上原価
- 人件費
- 支払手数料
- 研究開発費
- その他経費

# 情報セキュリティ事業の競争優位性

## 情報セキュリティ事業

当社グループの主たるビジネスである情報セキュリティ事業は、セキュリティ運用監視サービス「NetStare®（ネットステア）」を主に展開する「株式会社セキュアヴェイル」、運用アウトソーシングサービス「CustomerStare（カスタマーステア）」を展開する「株式会社キャリアヴェイル」、より付加価値の高いサービスを提供するため、「ユーザーの運用に役立つ」というサービスコンセプトの下に各種セキュリティ運用基盤の開発・販売を主たる事業とする「株式会社LogStare（ログステア）」の3社の事業部門から構成されており、自社開発した各社のサービスの特徴が、グループとしての競争優位性を実現しています。

株式会社セキュアヴェイルの提供する「NetStare®（ネットステア）」



「NetStare®」とは、24時間365日体制でお客様のネットワークインフラを監視し、機器故障、通信障害、サイバー攻撃などをいち早く発見する、統合セキュリティ運用サービスです。SOC (Security Operation Center)とNOC (Network Operation Center)を融合させたプロフェッショナルサービスであり、日々のシステム監視やセキュリティ運用はもちろん、機器の設定代行、ログ分析・リスク分析、セキュリティポリシーの改善提案、ネットワークの脆弱性診断など、お客様のITセキュリティを総合的に支援する、業界でも数少ない自社開発による純国産のSOCサービスです。

株式会社キャリアヴェイルの提供する「CustomerStare（カスタマーステア）」



「CustomerStare」とは、24時間365日の監視による情報システムの安定稼働と障害の早期発見を、平日の有人監視と夜間・休日の自動監視とのハイブリッドで提供する監視・運用代行サービスです。障害検知とその対応支援はもちろん、日々のシステム稼働状況の可視化とレポートも標準提供されるので、IT運用の属人化が解消され、最適なシステム運用が実現します。コロナ禍によってテレワークやDX等が急速に普及するなか、中堅・中小企業において限られた人数で全社のIT運用を担当する情報システム部門の業務改善のための駆け込み寺として、「第15回ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2021」の運用部門において「働き方改革貢献賞」を受賞しました。

株式会社LogStareの提供する「LogStare（ログステア）」



「LogStare」とは、システム監視、ログ管理、AI予測、すべての機能を1つのソフトウェアで実現する、次世代のマネージド・セキュリティ・プラットフォームです。従来のセキュリティ運用ソフトは、システム監視とログ管理に分かれ、さらにレポート作成や将来予測のための分析ツールも別途必要となり、すべてを導入し適切に運用することは、お客様の大きな負担となっていました。「LogStare」は、セキュアヴェイルのSOCが実際に実務で使うレポートテンプレートが標準搭載されているので、ログ分析の専門知識は不要。導入直後からすぐに使用できます。導入障壁・導入コストを最低限に抑え、多機能を1つのソフトウェアで実現し、かつクラウドで提供できることが、他社にはない強みです。

# 情報セキュリティ事業の取組み

## 情報セキュリティ事業

情報セキュリティ事業は、従来から強みとしている継続性の高いストック型サービスであるセキュリティ運用監視サービスの新規契約獲得、契約更新を軸に、安定した収益基盤の確立に取り組んでおります。

新たに大きな販路を持つ新規販売パートナーとの戦略的提携を推し進め、これまでの販売先の中心であった情報通信業に加え、新たにテクニカルパートナー（4社）として、比較的、競合の少ない地方のSIベンダー、電力系通信事業者を通じて、地方自治体や製造業にも販路が拡大しておりますので、引き続き、売上高の増大に取り組んでまいります。

また、お客様の事業環境も変化しており、自社システムや社内ネットワークについてもクラウド化が急速に進行しておりますので、子会社「株式会社LogStare（ログスタア）」の開発リソースを使い、新たな需要として求められているクラウド環境に対応した自社開発の各種セキュリティ製品や、運用基盤の機能強化に継続的に投資を行い、サービスラインアップを拡充させてまいります。

	既存サービス	新サービス
新規顧客	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規販売パートナーとの戦略的提携（新たな業界で販売網の拡大）</li><li>・地方自治体、公共向けにログ監視、ストック型サービスの提供</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラウド環境に対応したセキュリティ製品の開発</li><li>・自社開発ソフトウェアのラインアップを拡充</li></ul>
既存顧客	<ul style="list-style-type: none"><li>・ストック型サービスの契約更新、アップセル</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループ会社の持つサービスのクロスセル</li></ul>

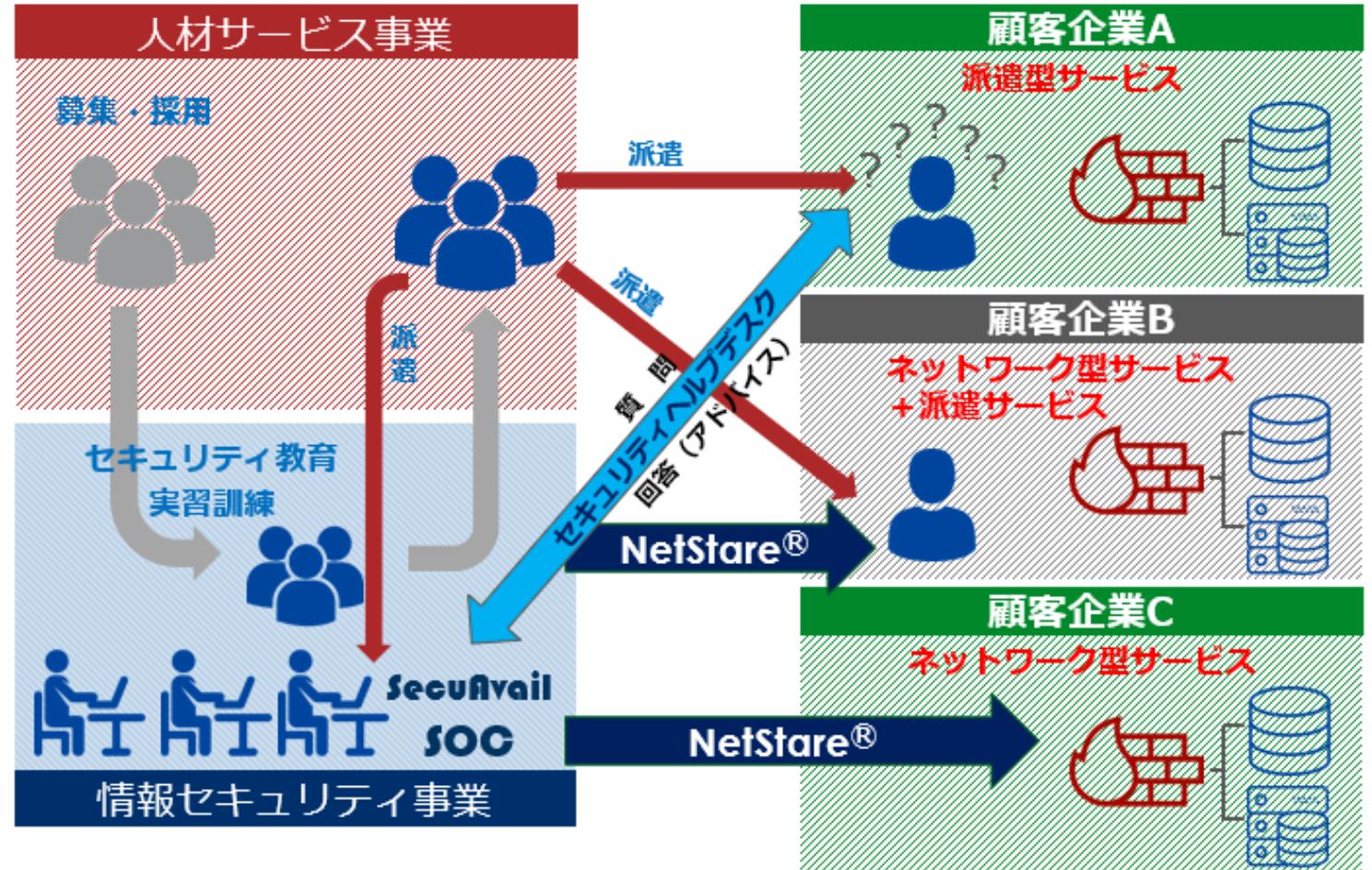
# 人材サービス事業の取組みと競争優位性

## 人材サービス事業

人材サービス事業は、連結子会社「株式会社キャリアヴェイル」を通じて、お客様への情報セキュリティエンジニア派遣を主としております。

効果的な情報セキュリティ対策を行うには、専門知識を有するプロフェッショナルの助力が必要であることから、情報セキュリティエンジニアを育成し、派遣することで、ネットワーク化の進行する社会の要請に応えるべく、情報セキュリティエンジニア不足に悩むお客様のニーズの獲得に取り組んでおります。

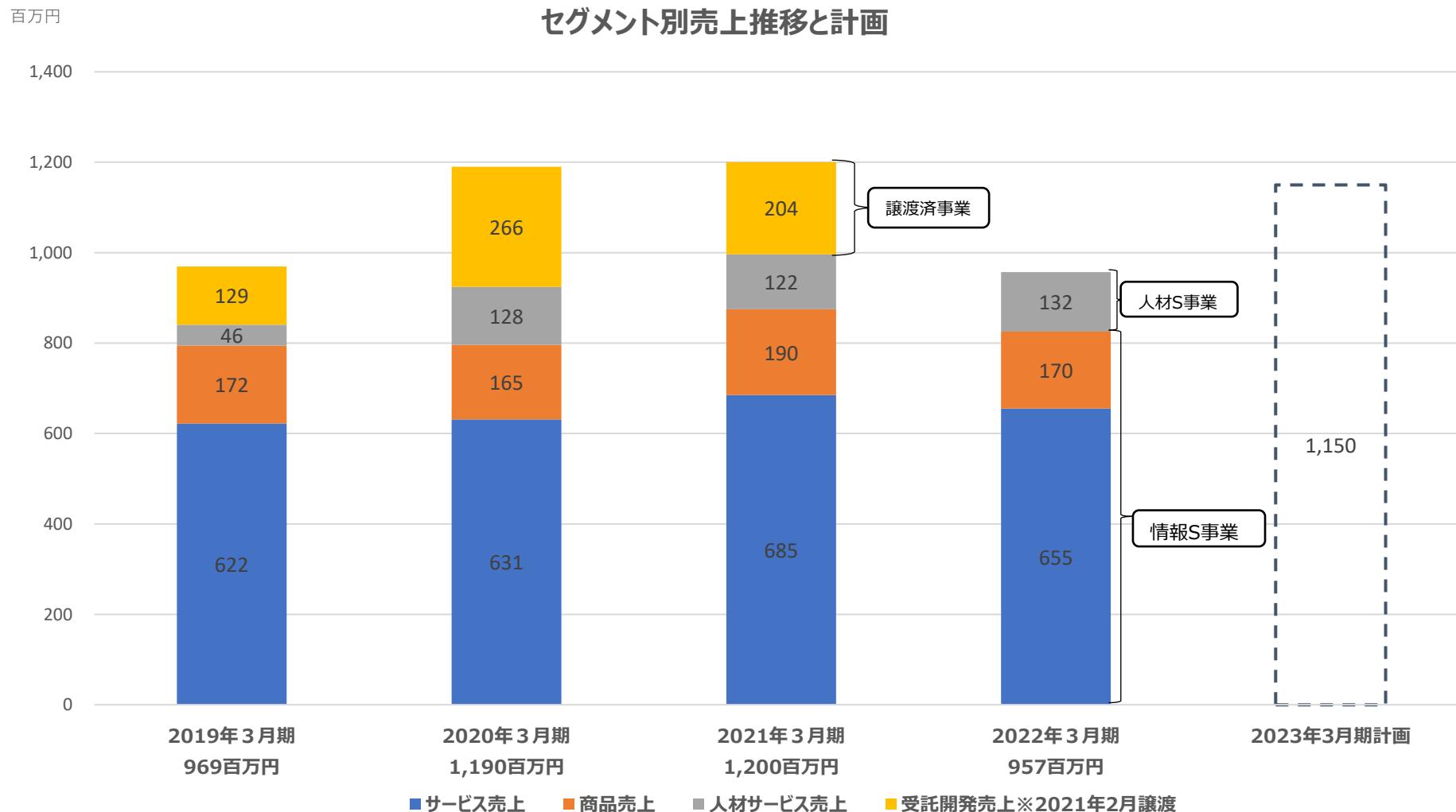
また、情報セキュリティエンジニアを派遣するだけでなく、右図のように情報セキュリティ事業の既存のお客様へ従来の運用監視サービスに、情報セキュリティエンジニア派遣サービスを合わせたハイブリッド型のビジネスモデルをご提案できることも他社にはない強みであると認識しております。



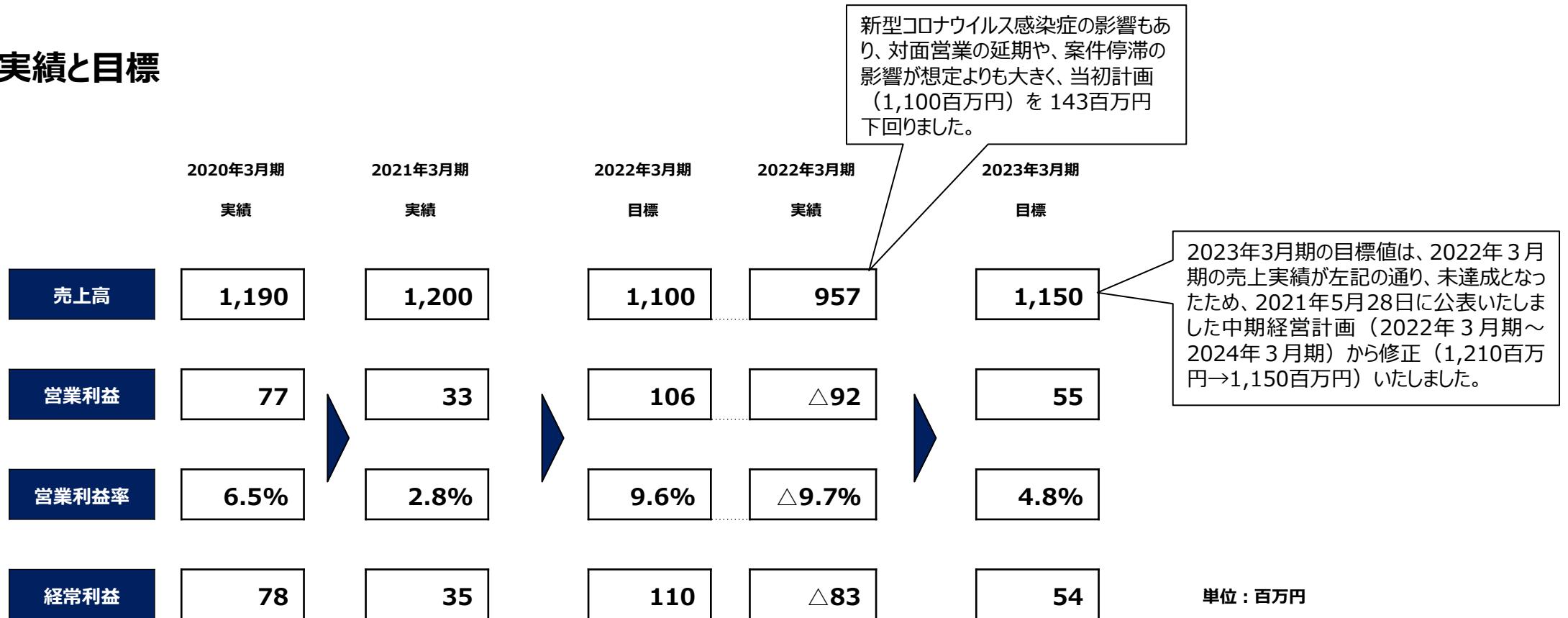
# セグメント別売上推移と次期計画

情報セキュリティ事業の売上構成は、月額料金で継続性の高いサービスであるセキュリティ運用監視サービスを主力とし、営業活動においても、安定したストック型サービスの新規獲得、契約更新に注力しております。2022年3月期の売上高に占めるサービス売上の割合は、68.4%（前期：57.1%）となりました。引き続き、安定した収益の源泉であるストック型サービスの新規獲得、契約更新に取り組むことで、収益性を高めて参ります。

人材サービス事業は、情報セキュリティエンジニア不足が慢性化している社会環境を見据え、情報セキュリティエンジニア志望者を募集し、育成プログラムを基に実習訓練を実施し派遣する、という特色を持ったビジネスモデルを提案しております。セキュアヴェイルの創業時から培った豊富な経験と、専門知識を教育した情報セキュリティエンジニアを派遣することで、情報セキュリティ事業のサービスに加え、お客様の社内からもサポートできるようになり、前期初に比べて約10名増員しております。当事業セグメントは、情報セキュリティエンジニアを十分に確保し続けるのが前提条件ではありますが、2024年3月期におきましては、売上高160百万円規模を見込んでおります。



## 連結業績の実績と目標



2023年3月期の業績につきましては、販売パートナーとの戦略的連携強化、セキュリティ運用基盤の機能強化と追加などの施策に取組み、グループ会社の相乗効果を発揮することで、売上高1,150百万円、営業利益55百万円、経常利益54百万円を目標としております。

2021年5月28日に公表いたしました中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）につきましては、初年度の2022年3月期の売上計画が未達成となったため、当初公表した2023年3月期以降の目標値を取り下げ、新たに2023年3月期を始期とする中期経営計画（～2025年3月期）を盛り込んだ「事業計画及び成長可能性に関する事項」を2022年9月に更新させていただく予定としております。

# IV. 認識するリスク

## IV. 認識するリスク

### 当社の将来の成長と事業計画の実行に影響を及ぼすと思われるリスク

リスク概要	可能性	時期	影響度	重要度の前年からの変化	当社の対応方針
情報管理について	小	不明	大	同	社内システムは複数のファイアウォール、アンチウィルスシステム、メールチェックシステムにより保護され、セキュリティの信頼性を高めております。主要サーバーは複数台で稼働させる方式をとっており、無停電かつ厳重に管理された耐障害性のあるデータセンターに設置され、事故、障害時に迅速に回復できるよう運用しております。また、当社グループは、すべての役員、従業員との間において入社時及び退職時に機密保持にかかる「秘密保持契約書」を個別に締結するなど、情報の漏洩の未然防止に努めております。
システム障害について	中	不明	大	同	想定される障害に備え、自家発電設備を備えた耐震性、漏水防止性、防火性等に優れたインテリジェントビルでのサービス提供、及び技術的対応を講じております。
競合について	中	中長期	不明	同	当社の経営資源と新しいテクノロジー要素を組合わせた新製品・サービス開発への中長期的な投資を行います。

将来の成長や事業計画の実行に影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

本資料には、当社グループに関する見通し、将来に関する計画、業績目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する当該記述を作成した時点における仮定に基づくものであり、実際には今後の様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。特に新型コロナウイルスの感染拡大により、市場環境が大幅に変動した場合には、予想数値と異なる可能性があります。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新は、2023年3月期を始期とする中期経営計画を盛り込み、2022年9月を予定しております。